

【図表1】 子どもの自殺

2017/5/ 武田さち子作成

西暦 (年)	文部科学省発表 子どものいじめ自殺者数(新聞等は武田調べ範囲内) (人)									警察庁 19歳以下	厚生省 自殺者 総数	和暦 (年)	子どもに関する主な出来事			
	小学校			中学校			高校							合計		
	自殺	いじめ 自殺	(新聞 等)	自殺	いじめ 自殺	(新聞 等)	自殺	いじめ 自殺	(新聞 等)	自殺	いじめ 自殺	(新聞 等)				
1974				69			208			277			854	19,105	昭和49	高校進学率が90%を超える
1975				79			211			290			857	19,975	昭和50	乱暴(小学生の暴行)62%、中学生45.6%
1976				72			216			288			801	19,786	昭和51	文部省「教育白書」我が国の教育水準を閣議に報告。高学歴化、生涯教育の必要性等
1977	10			89			222			321			813	20,269	昭和52	家庭内暴力の息子殺害(開成高校殺人事件)
1978	9		1	91		1	235		1	335			866	20,199	昭和53	滋賀県でいじめに耐えかねた少年2人(中3)が4人を就寝中に襲い1人死亡、2人重傷
1979	11			104		3	265		3	380			919	20,823	昭和54	林賢一君(中1・12)いじめ自殺。国立大学共通一次試験
1980	10			59		1	164		1	233			678	20,542	昭和55	校内暴力多発、家庭内暴力急増、予備校生(20)金鷹バット両親殺人事件
1981	8		1	74		1	146		1	228			620	20,096	昭和56	少年非行、弱者への凶悪目立つ
1982	8			62		0	129		0	199			599	20,668	昭和57	中・高校の卒業式に警官関与1528校となる。戸塚ヨットスクールで訓練生死亡
1983	6			83		2	148		0	237			657	24,985	昭和58	町田市・忠生中学校で教師(38)が生徒(中3・15)を果物ナイフで刺す(10間のけが)。横浜・ホームレス殺害
1984	12	1		66	6	4	111	0	0	189	7	4	572	24,344	昭和59	公・私立高校中退者が11万人を超える。大阪産業大学高校(高1)いじめ報復殺人
1985	11	0	1	79	9	18	125	0	2	215	9	21	557	23,383	昭和60	小川中・佐藤清二君(中3・14)いじめ自殺。公立校でのいじめ15万5千件。初の「いじめ白書」
1986	14	0	3	110	2	11	144	0	3	268	2	17	802	25,667	昭和61	鹿川裕史君(中2・13)いじめ自殺。岡田有紀子さん(18)自殺
1987	5	0		54	1	4	111	0	0	170	1	4	577	23,831	昭和62	愛媛県の中学校でいじめられていた女子生徒(中3・14)が給食に農薬混入
1988	10	0	1	62	2	7	103	0	4	175	2	12	603	22,795	昭和63	岩崎寛子さん(中1・13)いじめ自殺。東京・綾瀬で女子高生(17)コンクリート詰め殺人事件
1989	1	0		53	0	5	101	1	0	155	1	5	534	21,125	平成元	高崎崎(26)幼女連続殺人事件
1990	5	0		35	0	2	101	1	0	141	1	2	467	20,088	平成2	初めての大学入試センター試験実施。神戸高塚高校・女生徒(高1・15)校門前死事件
1991	5	0		43	0	2	73	0	0	121	0	3	454	19,875	平成3	豊中市立第15中学校・水元佐和さん(中3・15)同級生男女4人に暴行され一週間後死亡
1992	3	0	1	68	0	4	88	0	0	159	0	5	524	20,893	平成4	飯田高校・小野寺仁君(高2・17)、応援団長(高3・18)に「態度が大嫌い」と刺殺
1993	4	0		40	0	8	87	0	1	131	0	9	446	20,516	平成5	原玉有平君(中1・13)山形マツト自殺。大槻中・男子生徒(中3・14)同級生2人暴行を受け死亡
1994	11	0		69	4	11	87	1	2	167	5	13	580	20,923	平成6	大河内清輝君(中2・13)いじめ自殺。少年4人による長良川連続ランチ殺人事件
1995	3	1	1	59	5	13	77	0	4	139	6	18	515	21,420	平成7	福岡県宗像市・父親(49)が息子(中2)をいじめた少年2人(中2)を監禁
1996	9	0	2	41	2	9	93	0	2	143	2	13	492	22,138	平成8	知覧中・村方勝己君(中3・14)死ねばいじめは解決する」との遺書を残して自殺
1997	6	0	1	41	0	5	86	1	5	133	1	11	469	23,494	平成9	学級崩壊が問題化。神戸・児童連続殺傷事件
1998	4	0		69	1	8	119	0	7	192	1	15	720	32,863	平成10	小森香澄さん(高1・15)いじめ自殺。岡崎哲君(中3・14)同級生に殺害。黒磯市・女性教諭刺殺事件
1999	2	0		49	0	6	112	1	2	163	1	8	674	33,048	平成11	広島県世羅高校長が「日の丸・君が代」問題を苦に自殺。不登校12万8千人となる
2000	4	0		49	0	7	94	0	3	147	0	10	598	31,957	平成12	名古屋5000万円恐喝事件発覚。佐賀・バスジャック事件
2001	4	0		37	0	0	93	0	3	134	0	3	586	31,042	平成13	障害者手帳2級の青木悠君(16)少年2人に暴行され殺害。少年法改正。池田小事件で8人の児童殺害
2002	3	0		36	0	4	84	0	1	123	0	5	502	32,143	平成14	東京都東村山市で中高校生5人が野宿者(55)殺害。京都のスイミングスクールで少年(中1)がいじめ自殺
2003	5	0		35	0	2	98	0	1	138	0	3	613	34,427	平成15	福岡県の小学校で男性教師(46)がアメリカ人の血が交じっていると男子児童(小4・9)をいじめる
2004	4	0		31	0	2	91	0	0	126	0	2	589	32,325	平成16	長崎県佐世保市の小学校で御手洗伶美さん(小6・12)が同級生の女児(小6・11)に殺害される
2005	3	1	1	25	0	3	75	0	3	103	1	7	608	32,552	平成17	大阪府寝屋川市の小学校で卒業生の少年(17)が男性教師(52)を殺害。長崎で子どもの自殺が相次ぐ
2006	2	0		41	5	9	128	1	2	171	6	11	623	32,155	平成18	愛媛県今治市(中1男子)、福岡県筑前町(中2男子)でいじめ自殺。以降、全国で子どもの自殺が相次ぐ
2007	3	0		34	1	4	122	4	5	159	5	9	548	33,093	平成19	兵庫県神戸市の私立高校で男子生徒(高3・18)が自殺。「うそ1回につき罰金1万円」と約束していた
2008	1	0		36	1	2	100	2	3	137	3	5	611	32,249	平成20	ホームページに悪口などを書かれ、自殺するケースが増加
2009	0	0		44	1	4	121	1	1	165	2	5	565	32,845	平成21	名古屋で男子生徒(中3・14)が焼身自殺
2010	1	0	2	43	4	7	112	0	2	156	4	11	552	31,690	平成22	神奈川県川崎市で篠原真矢くん(中3・14)が「友だちをいじめから助けられなかった」と遺書を残して自殺
2011	4	0		41	4	6	157	0	2	202	4	8	622	30,651	平成23	滋賀県大津市で男子生徒(中2・13)が自殺。アンケートの結果いじめが判明
2012	6	0		49	5	6	140	1	1	195	6	7	545	27,858	平成24	大阪府大阪市の市立桜宮高校の男子生徒(高2)が顧問からの暴力を受けて自殺
2013	4	0	1	63	7	6	173	2	4	240	9	11	547	27,283	平成25	いじめ防止対策推進法制定(9/28)。各地で、いじめに関する第三者委員会設置
2014	7	0	1	54	3	5	171	2	4	232	5	10	538	25,427	平成26	長崎県佐世保市で女子生徒(高1・15)が同級生の女子生徒に殺害される
2015	4	1	1	56	5	6	154	3	3	214	9	10	554	24,025	平成27	神奈川県川崎市の上村遼太君(中1・13)が少年3人に殺害される
2016		0			6	6		2	2		8	8	520	21,897	平成28	8月に、青森県で中1男子、中2女子といじめ自殺が相次ぐ
	222	4	18	2,394	74	204	5,475	23	81	8,091	101	303				

◆ 文部科学省(文部省)の統計

※ 小学生は1977年から調査。

※ 文部科学(文部)省 2005年までは公立小・中・高のみ対象。

※ 2006年から、公立・私立・国立・特別支援学校対象。自殺した児童生徒が置かれていた状況について、自殺の理由に関係なく、学校が事実として把握しているもの以外でも、

保護者や他の児童生徒等の情報があれば、該当する項目をすべて選択。

※2013年から、高等学校通信制を含む。

◆ (新聞等)は、新聞や書籍等で拾った「いじめが原因と思われる自殺者」数。(公立・私立を含む)

※1974年から1987年までは年間の数。1988年以降は年度間数。

【図表2】 警察庁生活安全局地域課 職業別自殺者数 (人)

西暦(年)	小学校		中学校		高校		小・中・高合計	
2000	10		93		176		279	
2001	11		78		198		287	
2002	5		54		174		233	
2003	10		83		225		318	
2004	10		70		204		284	
2005	7		66		215		288	
2006	14	いじめ 男女	81	いじめ 男女	220	いじめ 男女	315	いじめ 男女
2007	8	0	51	1 (1:0)	215	6 (3:3)	274	7 (4:3)
2008	9	0	74	5 (4:1)	225	6 (3:3)	308	11 (7:4)
2009	1	0	79	3 (1:2)	226	4 (2:2)	306	7 (3:4)
2010	7	0	76	3 (2:1)	204	1 (1:0)	287	4 (3:1)
2011	13	1 (0:1)	71	2 (1:1)	269	1 (1:0)	353	4 (2:2)
2012	8	0	78	2 (1:1)	250	1 (1:0)	336	3 (2:1)
2013	8	1 (0:1)	98	2 (2:0)	214	2 (1:1)	320	5 (3:2)
2014	18	0	99	2 (2:0)	213	1 (1:0)	330	3 (3:0)
2015	6	0	102	1 (1:0)	241	0	349	1 (1:0)
2016	12	0	93	4 (3:1)	215	2 (1:1)	320	6 (4:2)

図表2 警察庁統計
このデータは、内閣府自殺対策推進室と警察庁生活安全局生活安全企画課が毎年3月に発表している「平成〇〇年中における自殺の状況」の職業別自殺者数を参照。(年度集計ではありません) 2007年に自殺統計原票を改正し、遺書等の自殺を裏付ける資料より明らかに推定できる原因・動機を3つまで計上

※ いじめが背景にあるのではないかと報道された子どもの自殺一覧は、武田さち子作成の「日本の子どもたち」
<http://www.jca.apc.org/praca/takeda/>
 ↓
 「オリジナル資料」
http://www.jca.apc.org/praca/takeda/takeda_data.html
 から、ダウンロードできます。

【図表3】 厚生労働省 平成23(2011)年度 年齢別死亡原因(1位~3位)

年齢	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54
第1位	不慮の事故	不慮の事故	不慮の事故	自殺	自殺	自殺	自殺	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
死亡率	6.5	4.8	11.0	22.9	24.1	23.2	24.8	31.0	59.0	110.6
第2位	悪性新生物	悪性新生物	自殺	不慮の事故	不慮の事故	不慮の事故	悪性新生物	自殺	自殺	心疾患
死亡率	1.8	1.9	8.5	12.2	11.2	11.2	17.2	26.3	30.0	36.2
第3位	その他の新生物	自殺	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	不慮の事故	不慮の事故	心疾患	自殺
死亡率	0.7	1.3	2.6	3.6	4.6	9.3	12.1	15.5	22.3	32.4

厚生労働省 平成24(2012)年度 年齢別死亡原因(1位~3位)

年齢	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54
第1位	不慮の事故	悪性新生物	自殺	自殺	自殺	自殺	自殺	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
死亡率	1.9	1.9	8.5	21.0	23.2	20.7	21.5	32.1	56.5	107.9
第2位	悪性新生物	不慮の事故	不慮の事故	不慮の事故	不慮の事故	悪性新生物	悪性新生物	自殺	自殺	心疾患
死亡率	1.6	1.6	5.7	7.0	6.1	9.0	16.6	23.2	27.4	33.7
第3位	先天性奇形等	自殺	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	不慮の事故	心疾患	心疾患	心疾患	自殺
死亡率	0.7	1.3	2.8	2.8	4.9	6.1	7.3	13.2	21.7	29.9

厚生労働省 平成26(2014)年度 年齢別死亡原因(1位~3位)

年齢	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54
第1位	悪性新生物	悪性新生物	自殺	自殺	自殺	自殺	自殺	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
死亡率	2.0	1.8	7.3	19.7	22.0	20.9	20.7	30.1	55.2	100.9
第2位	不慮の事故	自殺	不慮の事故	不慮の事故	不慮の事故	悪性新生物	悪性新生物	自殺	自殺	心疾患
死亡率	1.9	1.8	5.3	6.4	6.0	9.6	16.4	21.2	24.1	33.7
第3位	先天性奇形等	不慮の事故	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	不慮の事故	心疾患	心疾患	心疾患	自殺
死亡率	0.7	1.5	2.4	2.9	5	5.7	6.5	12.6	20.2	26.2